

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【公表番号】特表2020-506209(P2020-506209A)

【公表日】令和2年2月27日(2020.2.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-008

【出願番号】特願2019-543311(P2019-543311)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/40 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/573 (2006.01)

A 6 1 K 31/4178 (2006.01)

A 6 1 K 31/439 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 31/438 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 P 1/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/40

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/573

A 6 1 K 31/4178

A 6 1 K 31/439

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 31/438

A 6 1 K 9/08

A 6 1 P 1/08

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月3日(2021.2.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者の術後悪心及び/又は嘔吐の治療に使用するアミスルプリドを含む医薬であって、前記患者は、術後悪心及び/又は嘔吐の予防薬を既に投与されており、アミスルプリドの用量は、7.5乃至15mgである、医薬。

【請求項2】

アミスルプリドの用量は、10mgである、請求項1記載の医薬。

【請求項3】

前記予防薬は、アミスルプリドではない、請求項1又は2記載の医薬。

【請求項4】

前記予防薬は、ドパミン-2(D₂)拮抗薬ではない、請求項1乃至3の何れかに記載の医薬。

【請求項5】

前記予防薬は、5HT₃拮抗薬、コルチコステロイド、抗ヒスタミン剤(H1)、抗コリン作用薬、H₂拮抗薬、又はNK₁拮抗薬から選択される制吐剤である、請求項1乃至4の何れかに記載の医薬。

【請求項6】

前記アミスルプリドは、他の制吐剤と組み合わせて、個別に、連続して、又は同時に投与される、請求項1乃至5の何れかに記載の医薬。

【請求項7】

前記他の制吐剤は、5HT₃拮抗薬、NK₁拮抗薬、又はステロイドである、請求項6記載の医薬。

【請求項8】

前記他の制吐剤は、デキサメタゾン、オンダンセトロン、グラニセトロン、パロノセトロン、アブレピタント、ネツピタント、又はロラピタントである、請求項6又は請求項7記載の医薬。

【請求項9】

前記アミスルプリドは、実質的にラセミ体の形態である、請求項1乃至8の何れかに記載の医薬。

【請求項10】

前記アミスルプリドは、静脈内経路を介して投与される、請求項1乃至9の何れかに記載の医薬。